

# 平成24年度 地域産業復旧・復興支援事業（Bタイプ）

## ふくしまやきとり推進協議会

### 全国やきとりリンピックinふくしま実行委員会（福島県）



## 「全国やきとりリンピックinふくしまで新焼き鳥開発事業」

### 【事業目的】

全国の7大焼き鳥タウンの名店の焼き鳥が一堂に勢ぞろいすることにより、全国の焼き鳥ファンの来県を促進し、東日本大震災、原発事故の影響で風評被害に悩む福島県、東北地方の復興に寄与する。また、開催場所を中心市街地とすることで空洞化の危機にある中心市街地の活性化を目指す。

焼き鳥を通じた地域間交流の促進を図り、全国へ発信することによって、和食としての焼き鳥文化の向上を目指す。全国各地の名物焼き鳥を通じて、安心・安全およびその技術を伝え、子ども達があこがれる職業・産業に発展させることを目的とする。

### 【事業実施状況・成果】

「全国やきとりリンピックinふくしま」

日にち：10月6日（土）～7日（日）

会 場：福島市さんかく広場（福島市置賜町）

参加店舗：全国の焼き鳥の名店16店舗

来場者数：55,000人

会場では、伊達鶏、川俣シャモ、会津地鶏、本宮鳥骨鶏をブレンドし開発した新焼き鳥「いいとこ鶏・つくね」も初披露され、焼き鳥ファンの人気を集めた。

復興支援イベントということで、新聞社、テレビ局などたくさんのメディア取材、ラジオ福島の生中継も行われ、終日盛り上がった。

2日間で9,000本を売り上げる店舗もあるなど、ほぼ全店舗で完売状態となる盛況ぶりで「毎年開催してほしい」という意見も目立った。

また、前日開催された焼き鳥フォーラムでは、農水省関係者、全国やきとり連絡協議会、地元生産者の代表らが、焼き鳥を通しての地域活性化策などについて意見を交わした。

### 【今後予想される事業効果】

来年以降も福島県の焼き鳥・地鶏料理などをPRするイベントを開催し、焼き鳥を活用しての地域おこし、福島県の農産物に対する風評被害の払拭に寄与する。

毎年秋に恒例イベントとして開催することにより、県外からの誘客を図り、観光業の活性化にも貢献する。また、今回の全国やきとりリンピックinふくしまを成功させたことにより、平成25年10月に福島市で全国丼サミットを誘致することになった。焼き鳥を使った丼を開発、さらなる食文化による地域おこしを目指す。また、会津地鶏を使い、大河ドラマのヒロインにちなんだ「八重の桜ソースカツ丼」を開発、観光客にアピールする。